

-----8月8日-----

※ 今週のアウトルック (8/8~8/12)

先週は前半、米国債デフォルトは回避されたものの、財政悪化、世界的な景気先行き不安などから、円高が止まらない流れとなりました。後半日銀による大規模な介入で一時的にドル円は80円台を回復し、一旦は終了したかに見えた急激な円高の流れも、週末には再び78円前半で終了しています。

米国雇用統計などの好結果を受けても、リスク回避の流れが結果的には大きく変わらなかったことから、今週も基本的には円高へ向かう流れに、変化はないように思います。

ドル円は、8/1に76円台前半の最安値を付けてから、米国債デフォルト回避の流れを受けて、一旦はドル買い戻しの流れが変わったものの、景気先行き不安からのドル売りの流れは根強く、日銀の介入や、米国雇用統計の好結果を受けても、大きく変化した気配はあまりありません。今週も買い戻しをこなしながらのドル売りは続くと思われれます。

ドル円の予想レンジは77円から79円です。

ユーロは、ドル売りがある一定水準を超えると、ユーロに対してもドル安が大きく進むことから、ユーロ円は結果的には円安が進む状況になっています。この流れは今週も続くと思われるため、ユーロ円はレンジ的な動きになるのではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは110円から113円です。

ポンドは、強いドル売りに対してポンドドルが上昇し、円に対しても結果的に上昇する流れとなっています。本格的なポンド高トレンド回復は、まだあまり期待できないものの、130円あたりまでのレンジ的な動きは期待できるように思います。

ポンド円の予想レンジは127円から130円です。

今週は、ドル安トレンドから、どの通貨が相対的に上昇するかにより、クロス円の状況は大きく変わりそうです。

また、介入警戒感が一步後退した時のドル円安値トライには、注意したいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。